



# 市政 PICK-UP

## 橋上に歴史再現

4月29日、爽やかに晴れ渡った空の下「第39回錦帯橋まつり」が開催され、約4万2千人の人数でにぎわいました。  
旧藩主感謝祭が吉香神社でしめやかに執り行われた後、吉香公園周辺の会場では、空手道演武、吹奏楽演奏、お茶会などが行われ、錦帯橋世界遺産推進ブースでは、錦帯橋模型の組立体験の後、子供が模型の上で強度を確認していました。  
昼過ぎには、華やかな着物姿の女性たちによる「時代着物列」

### 第39回 錦帯橋まつり



列」を先頭に、子供たちによる県指定無形民俗文化財の「南条踊」、地元住民による「小糠踊り」、3つの保存会による「奴道中」、参勤交代を再現した「大名行列」が次々と錦帯橋の上を練り歩き、総勢約300人が時代絵巻を繰り広げました。  
河川敷では、岩国藩鉄砲隊保存会による「鉄砲隊演武」や「岩国太鼓」が披露され、勇壮な姿に見物客が盛んに拍手を送っていました。  
☎観光振興課 ☎2951116



# 交通安全への誓いを新たに

春の全国交通安全運動（4月6日～15日）の期間に合わせた4月12日、市民会館前で交通安全市民大会が開催され、関係団体をはじめ約500人が参加しました。

交通安全岩国市対策協議会会長を務める福田良彦市長が「子どもと高齢者の交通事故防止」など5つの重点目標を掲げ「各自が歩行者、ドライバーの立場となり、まずは自分が模範となるような行動を取ることが大切



▲えきまえ保育園園児が元気な声で交通安全宣言

## 交通安全市民大会&パレード

です」とあいさつを行いました。無事故無違反コンテストの表彰のほか、交通安全宣言ではえきまえ保育園園児が「とびだしはしません。どうろではあそびません。やくそくします」と元気な声で宣誓しました。

大会後は岩国地区消防音楽隊が先導してパレードが行われ、参加者はプラカードを掲げて周囲の人に交通安全をアピールしました。

園市民協働推進課 ☎ 5018



▲プラカードを掲げパレードで交通安全を呼び掛けた

市では、このたび発生した平成28年熊本地震の被災者を支援するため、災害救援物資を被災地に送る取り組みを行いました。4月20日に岩国商工会議所から飲料水（ペットボトル千本）の寄贈を受けたほか、4月22日から26日まで市民に災害救援物資の提供を呼び掛けたところ、短い期間にもかかわらず665件もの善意が寄せられ、トイレ用トイレットペーパー1万3540ロール、飲料水5245本、生理用品1305パック、紙おむつ1

## 熊本地震 災害救援物資・義援金

047パックが集まりました。地震による影響で交通網が寸断されていたことから、これらの災害救援物資は海上自衛隊31航空群に輸送の協力を依頼し、4月28日に岩国市地方卸売市場で引き渡しを行いました。このほかにも多くの個人や団体から災害義援金の寄贈を受けており、日本赤十字社岩国市地区から山口県支部を通じて被災地に送ることにしています。

園危機管理課 ☎ 5119  
社会課 ☎ 5070

## 被災地へ善意届ける



▲災害救援物資を積み込む市職員と海上自衛隊員



▲フレンドシップデーで福田市長と岩国総合高校の生徒が募金活動を行った